



農業委員の欠員補充のための 推薦・応募を受け付けます！

町では、農業委員会の委員（以下「農業委員」）に欠員が生じたことから『農業委員会等に関する法律』に基づき、農業委員の推薦・応募を受け付けます。推薦・募集要項で詳しい内容を確認のうえ、所定の推薦書、または応募書を農林課へ提出してください。関係書類は、農林課の窓口で配布しているほか、町公式ホームページからも取得できます。

▶提出期間

12月9日(月)～令和2年1月8日(水)

※持参の場合、開庁時（午前8時30分～午後5時15分）にご持参ください。
※郵送の場合、提出期限必着です。

▶農業委員の概要

資格	農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関しその職務を適切に行うことができること
主な活動内容	農地の売買・貸借の許可や転用等の審議
募集人数	1人
任期	前任者の残任期間（任命の日～令和4年3月31日）
報酬	町の規定に基づき支給
任命	町長が任命

▶その他

■推薦・応募に関する情報（住所は除く）は、町公式ホームページで公表されます。なお、原則として認定農業者等が委員の過半数を占めることなどの法定要件があるほか、任命に当たっては町議会の同意が必要になります。

■推薦・応募が複数あった場合は、町の選考会を経て、候補者を決定します。

☎ 農林課 ☎ 581・2121内線407

お知らせ info 災害時避難行動要支援者台帳 更新のお知らせ

町では、災害発生時に自力で避難することが困難な方の登録情報（災害時避難行動要支援者台帳）の更新を行います。

災害時避難行動要支援者台帳とは

災害発生時に自力で避難することが困難な方に、あらかじめ同意のうえ登録していただき、その情報を消防署や警察署、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自主防災組織などと共有して、災害時の避難支援や安否確認などに活用します。

▶対象／①75歳以上の寄居町民（平成31年3月31日現在）、②要介護3～5の認定者、③身体障害者手帳（1・2級）、療育手帳（A・A）、精神障害者保健福祉手帳（1級）のいずれかをお持ちの方
※在宅生活でない方（施設入所や長期入院等）を除く。

▶登録方法／①～③に該当する方で、今年度から対象となった方に「寄居町避難行動要支援者登録申請書」を8月に郵送しています。登録希望の方は、必要事項を記入のうえ、12月31日(火)までに同封の返信用封筒で返信してください（消印有効）。
※昨年度以前に対象となった方で未登録の方や、登録した内容に変更がある方は、健康福祉課へお問い合わせください。

☎ 健康福祉課 ☎ 581・2121内線123・124

危険業務従事者叙勲・秋の褒章 受章おめでとうございます！

危険業務従事者叙勲
瑞宝双光章 警察功労



齋藤 道治さん (山崎)
【元 県警部】

私が章をいただけたのも、良き上司、仲間にも恵まれ、家族の支えがあったからです。深く感謝しております。

秋の褒章
藍綬褒章 防犯功績



高田 和久さん (中町)
【現 寄居地域安全防犯協会副会長】

この度は、栄えある章をいただき誠に光栄です。今後も皆さまに支えていただきながら、人生をまい進したいと存じます。

第37回 寄居町交通安全ポスター・作文コンクール

悲惨な事故をなくし、暮らしやすい社会を築くため、児童たちが真剣に考えました。いずれの作品も、交通安全に対する願いが込められています。<敬称略>

	ポスターの部	作文の部
埼玉県知事賞	樋口 真菜 (鉢形小6年)	瀬戸 裕太 (寄居小5年)
寄居警察署長賞	佐藤 優衣 (男衾小4年)	金子 理緒 (男衾小5年)
寄居町長賞	森 煌莉 (鉢形小4年)	伊藤 陸 (鉢形小4年)
寄居町議会議長賞	藤野 哉恩 (男衾小6年)	宮本 心桜 (鉢形小6年)
寄居町教育委員会教育長賞	四方田和香 (桜沢小4年)	服部 蓮音 (鉢形小5年)
寄居町交通安全母の会会長賞	田島 幸奈 (寄居小6年)	佐藤 日史 (用土小4年)
入 選	柴崎 陸仁 (桜沢小6年)	齊藤 悠雅 (鉢形小6年)
	山崎 百華 (折原小6年)	森田 啓斗 (鉢形小6年)
	伊藤アーク (鉢形小6年)	内田 慶之 (男衾小6年)
	新井 汰月 (男衾小6年)	小森 星奈 (男衾小6年)
	川村 咲夏 (男衾小6年)	野澤 薫央 (用土小6年)
	内田 夢佳 (桜沢小5年)	大久保桃菜 (男衾小5年)
	藤巻 拓也 (折原小5年)	大嶋さくら (男衾小5年)
	久保 羽麗 (鉢形小5年)	金子 結理 (男衾小5年)
	布施 夢華 (用土小5年)	茂木 愛美 (男衾小5年)
	倉林 快成 (寄居小4年)	新井 啓介 (寄居小4年)
	大北 千尋 (桜沢小4年)	加藤 世莉 (桜沢小4年)
	塩川 真央 (男衾小4年)	松浦小百合 (折原小4年)
	山路 心結 (用土小4年)	内田瑠貴翔 (鉢形小4年)
※ご意向により掲載していない児童もいます。	石澤 心晴 (男衾小4年)	

埼玉県知事賞
樋口 真菜 (鉢形小6年)



埼玉県知事賞
「高れい者と交通事故の関係性」
瀬戸 裕太 (寄居小5年)

最近、ニュースや新聞で高れい者に関する事故が後をたちません。ぼくの家には今年で九十才になるひいおじいちゃんがあります。ぼくは、このような高れい者の事故を耳にするたびに、ぼくのひいおじいちゃんに事故にあってしまったらどうしよう、などと考えてしまったり、事故にまきこまれてしまったらどうしよう、などと考えてしまったり、とても心配になります。そして、そのようなニュースを見るのが、おそろしいです。

高れい者は、歩くスピードがおそくなってしまっているので、道路や横断歩道をわたり終えるのに、時間がかかってしまったり、歩幅が狭い、歩幅がゆるゆるなので、歩くスピードがお店へ買い物へ行く時など、道路をわたり終わらないうちに、スピードを出している車が来たらどうしよう、と心配になります。

また、耳も遠くなってくるので、車のエンジン音やクラクションが聞こえにくく、きけんな目にあってしまうことが多くあると思います。今は、ハイブリッドカーなどエンジン音やその音が静かな自動車が多いです。静かだと便利だと思ふ反面、車が来た時に気づきにくいというきけんもあるのだと思います。

そして、お年寄りには視界もせまくなり、目が見えにくくなるため、車との接しよくのきけん性もありま

そのような、きけんなことが、日常生活にありふれていると思うので、ハンドルを持ち、車を運転する人は、常にきけんとなり合わせだという自覚を持たなくてはなりません。また、思いやりの心を持つことも大切だと思います。

しかし、高れい者は事故の被害者にもなり、加害者にもなりえます。年をとるに連れて、判断力やしゅん発力の低下のため、いざという時に、アクセルとブレーキをふみまちがえて、建物やガードレールなどにしよう突っ込んでしまったり、ハンドルの操作をあやまって事故を起こしてしまうことも、少なくありません。

最近では、ニュースなどで、このような事故を耳にすることが多くあります。こうした高れい者の事故を、少しでも減らすために、運転免許証を自主返すことが大切だと思えました。それには、返る後の生活を支えてあげられるような、家族や周囲の人たちの協力が重要だと思います。

今の日本は超高れい社会であり、これからはお年寄りが増えていく中、車を運転する人、自転車に乗る人、ぼくたち一人一人が、お年寄りに対して思いやりの気持ちを持つことが大切です。そして、不幸な交通事故が起らないためにも、日ごろから安全運転を心がけ、みんなが安心して暮らせる世の中をつくっていきましょう。